令和元年度（２０１９年度）産山学園便り

夢創造



マスク着用での証書授与でも、しっかりと受け取る姿がすばらしかったです。

令和２年３月17日（火）no.38　文責：上田

卒業生の前途を祝福　卒業証書授与式

14日（土）、令和元年度産山学園第２回卒業証書授与式を挙行し、１２名の本年度卒業生が学舎を巣立っていきました。ご存じのとおり、３月２日（月）からの新型コロナウィルス感染予防に伴う全校休業となり、来週以降も学年末・学年始休業まで休業が延長となりました。例年だと、地域の多くの来賓の皆様や在校生にも盛大に祝ってもらうことができますが、今年は卒業生と保護者・ご家族、教職員等のみで、会場もメディアルームに変更しての卒業式となりました。しかし、卒業生一人一人の希望に満ちた凛とした表情を見ることができ、うれしく思いました。



さて、校長式辞で、卒業生の旅立ちに、次の言葉を贈りました。

一燈（いっとう）を提（さ）げて　暗夜（あんや）を行く。

暗夜（あんや）を憂（うれ）うること勿（なか）れ、ただ一燈（いっとう）を頼（たの）め。

この言葉は、『言志四録（げんしろく）』に書かれた言葉です。過の西郷隆盛が座右の銘にしたとも言われています。心の中に一つの灯・燈（あかり）があれば、、暗闇においても心強く自分の進むべき道を照らしてくれるものです。自らの夢に挑戦し続ける卒業生にとって、これからの人生における灯を見失うことなく進み続けてほしいと願っています。卒業生が世の一線で活躍する時代は、今まで以上に変化の激しい社会であることは確かだと思います。どんな暗闇にあっても灯・燈をかざし前に進んでほしいと祈っています。産山学園での豊かな経験が、卒業生の心の中で芽吹くことも期待しています。ご卒業おめでとうございます。

登校日 元気な声に安堵

新型コロナウィルス感染予防の臨時休業に伴い、臨時に設定した17日（火）の登校日。校内のあちらこちらで、友達や先生方と笑顔で会話する様子を見て安堵しました。もうしばらく休業が続きますが、感染防止を怠らず過ごしてほしいと思います。